

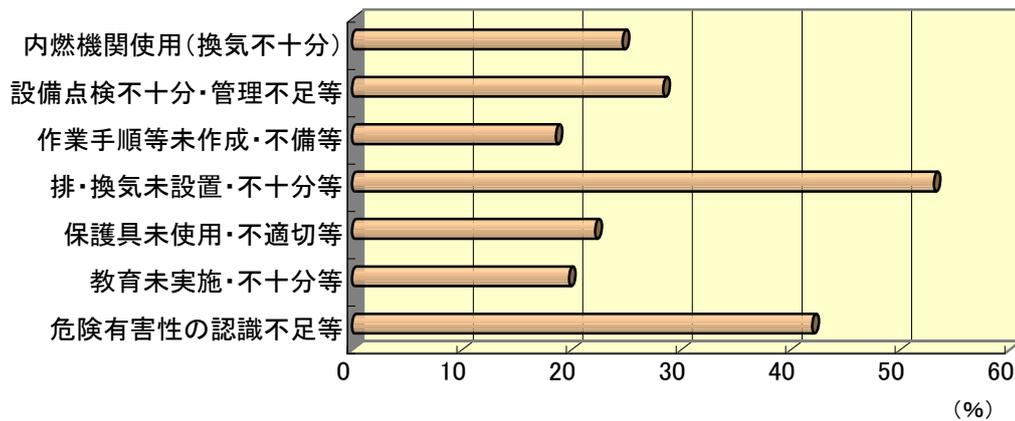
職業性中毒等の発生原因

環境・健康

平成 22 年度の有害物質（有機溶剤、特定化学物質、一酸化炭素、その他の化学物質）による職業性中毒等の発生事例 81 件（中毒等 138 名、内死亡 4 名：労働衛生のしおり）での発生原因等を下記の図に示しました。

発生原因等は、排・換気未設置・不十分等が 81 件中 43 件（53%）、危険有害性の認識不足等が 34 件（42%）、安全衛生教育の未実施・不十分等を含めると 50 件（62%）、保護具の未使用・不適切等が 18 件（22%）、作業手順等未作成・不備等が 15 件（19%）、設備点検不十分・管理不足等が 23 件（28%）、内燃機関使用（換気不十分）が 20 件（25%）となっています。

職業性中毒等の発生原因



kes サポート

目的	課題	kes サポート
把握	職場巡視、衛生診断	労働衛生コンサルティング
	作業者の有害物質曝露状況	個人曝露モニタリング
	既設の局所排気装置等の性能	局所排気装置等の性能検査
改善	作業環境への有害物質の発散抑制	排・換気設備の改善、設置
	有害物質の吸入等防止	呼吸用保護具等の販売、教育
教育	作業者の衛生意識の向上	労働衛生教育